



酒井愛子 (さかい あいこ) 先生 (筑波大学小児科) は「B型肝炎のワクチン反応性と慢性B型肝炎の感受性は共通のHLA-DP多型と強く関連する」でYIAを受賞しました。ちょうどB型肝炎ウイルスの定期化が議論されているタイミングでしたが、遺伝学的にも免疫学的にも高いレベルの研究成果で、質疑も余裕でこなし、今回最高得点での受賞でした。



康井洋介 (やすい ようすけ) 先生 (慶應義塾大学保健管理センター) は「パリピズマブ耐性RSウイルスF蛋白の解析」でYIAを受賞しました。臨床的に重要な問題に、基礎医学的研究によってアプローチして、しっかりと結果を出したことが評価されました。



村岡正裕 (むらおか まさひろ) 先生 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科小児科) は「Atypical X-SCIDから樹立したT細胞株における変異型 $\gamma$ c鎖の機能解析」でYIAを受賞しました。このような細胞株の樹立は根気のある大変な作業ですが、今後ここから多くの知見が得られることを期待します。

- ・「2014/15シーズンにおけるインフルエンザワクチンの有効率の調査報告」  
神奈川県予防接種推進協議会 高宮光 (たかみや ひかり) 先生
- ・「乳幼児のRSウイルス感染症入院例におけるウイルス量の推移」  
横浜市衛生研究所 七種美和子 (さいくさ みわこ) 先生
- ・「当院におけるヒトメタニューモウイルス感染症の臨床的、分子疫学的検討」  
福島県立南会津病院小児科 渡部真裕 (わたなべ まさひろ) 先生
- ・「水痘ワクチン接種7年後の免疫原性評価」  
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児科 羽田敦子 (はた あつこ) 先生
- ・「感染症発生動向調査からみた水痘ワクチン定期接種化後の水痘発生動向の変化」  
国立感染症研究所感染症疫学センター 森野紗衣子 (もりの さえこ) 先生
- ・「福島県における小児期発症急性脳炎脳症 280例の疫学的臨床的検討—発症動向の変化と予後関連因子解析—」
- ・「ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン導入前後における小児細菌性髄膜炎 226例の経時的発症動向と予後解析」  
福島県立医科大学医学部小児科 川崎幸彦 (かわさき ゆきひこ) 先生



第1回ポスター賞を受賞した10名と理事長との集合写真です。右から高宮光先生、七種美和子先生、渡部真裕先生、羽田敦子先生、森野紗衣子先生、理事長、川崎幸彦先生、梅津守一郎先生 (代理：藤澤知雄先生)、Leu Hue 先生、友田昂宏先生、尾上泰弘先生です。



研究プロジェクト助成金授賞式の模様です。左から、津下充先生 (代理：塚原宏一教授)、理事長、高野智子先生です。  
津下充 (つげ みつる) 先生 (松山赤十字病院小児科) は「胎児超音波検査で子宮内胎児発育遅延等の異常所見を認めた妊婦におけるサイトメガロウイルス母子感染の疫学と先天性サイトメガロウイルス感染時の合併症の検討」で、研究プロジェクト助成金を獲得されました。産科と病理診断科との共同研究で、胎児超音波検査で何らかの異常所見を認めた場合の先天性サイトメガロウイルス感染の関与を見逃すまいとするものです。臨床現場での意義は大きく、有意義な結果が出ることを期待いたします。  
高野智子 (たかの ともこ) 先生 (大阪府立急性期・総合医療センター小児科) は「乳幼児におけるサイトメガロウイルス感染症及びEBウイルス感染症の罹患年齢と臨床的特徴の検討」で、研究プロジェクト助成金を獲得されました。乳幼児にとってcommonな感染症ですが、その臨床的特徴をきちんとまとめていこうとするものです。こちらも臨床的意義が高く、一般病院ならではの研究成果があがるのではないかと思います。